

▼ 壽環境機材株式会社

水処理などで環境保全に貢献

——提案から設計・製作、メンテナンスまでの一貫サービスに強み

ここに注目!

- ▷ ダイバーシティ重視で子育て中の女性も働きやすく
- ▷ 高い業績と従業員満足の同時実現を目指す

車両関連の大型案件を獲得

壽環境機材の本社営業部営業一課主任を務める松田恭美さん。同社には2010年に中途採用で入社してきた。その松田さんは変わった職歴を持っている。同社に入社する前は、乳酸菌飲料メーカーのセールスレディーとして企業回りをしていたのである。

「壽環境機材も私の訪問先企業の1つでした。定職に就きたいと思っていた時期だったので、この会社に就職することを決めました」という。同社を選んだのは、「アットホームな雰囲気があり、部下が上司に意見を述べやすい会社だと感じたから」だそう。

ただ、扱う商品は乳酸菌飲料

メーカーとはまったく違う。壽環境機材は水処理設備や洗浄設備などのメーカーである。取引金額はもちろん、お客様も営業方法も大きく異なる。それでも「営業で回るという面では今までと同じと考え、思い切り仕事をすることができました」と松田さんは語る。

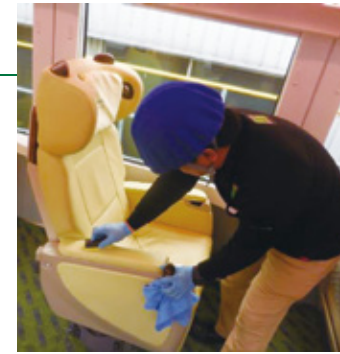
フットワークの軽さを生かして官庁などに足しげく通い、地下鉄車両の洗浄と排水のシステムという大型案件を獲得してきたこともある。観光特急の座席コーティングという新しいビジネスを開拓したのも松田さんである。「貴重な人材になっています」と、高木眞敏社長も全幅の信頼を寄せている。

そんな松田さんは、子育てをしながら働いてきた女性でもある。

「この会社に入社した時は、子供はまだ2歳でした。急な病気にかかった時などには、よく早退させてもらいました。会社の理解があればこそ仕事を続けてこられたと思います」と振り返る。今は小学5年生になり、手間がかからなくなったと言うが、子育て中であることには変わりはない。

「企業は業績をあげなければ生きていけない。従業員に優しくなければ生き残れない」という言葉が好きだと高木社長は言う。「高い業績」と「従業員満足」を同時に実現することが目標だ。子育て中の女性社員への気遣いも、「従業員満足」の追求の一環である。

「女性従業員は17名います。ベトナム人を採用し2018年に



▲観光列車の座席コーティングの作業の様子



▲壽環境機材が納品したハイブリッド車体洗浄装置



▲定評のある排水処理装置

開設したハノイの駐在員事務所に派遣するなど、外国人も登用しています。ダイバーシティを尊重する会社です」

高木社長は、社の姿勢をこう強調する。

資格取得で給料アップ

こうしたダイバーシティを重視する姿勢は、壽環境機材の歴史と無関係ではないだろう。同社は三菱ケミカルエンジニアリング社から水処理事業などの譲渡を受けて、事業規模を一気に拡大したが、社風も営業の仕方も違う会社から受け入れた従業員とは、なかなか意思疎通ができなかったようだ。

高木社長は環境が違う会社で育った従業員同士の意思統一のため、「全員参加」「All for All」と

いう、全社一丸となって目標に向かう姿勢の重要性を繰り返し説いてきた。同社が重視する多様な人材の活躍も、共通の目標があっこそ可能なのだ。その目標とは「地球環境への貢献」にほかならない。

もちろん、どんな人材であっても、水処理設備や洗浄設備などの技術は、すべてイチから身に付ける必要がある。今後、同社は設備のメンテナンスにも力を入れていくという。必然的にお客様とは長い付き合いになるが、技術がなければお客様との関係の継続も不可能だ。

課長クラス以上には外部の経営幹部養成スクールを活用する研修制度も用意されている。しかし、これはマネジメントの研修である。製品に関する知識などは、先

輩の技術者に得意先回りに同行してもらうなどして、少しずつ身に付けていくしかない。集団研修などは難しい業態だからだ。松田さんもこうした方法で知識を得たという。


ただ、公害防止管理者などの資格取得に関しては、資格に応じて給与にプラスアルファが付くなど、モチベーションアップのための仕組みがある。このあたりのこまやかな支援も同社の特徴だろう。松田さんも「資格は取りたい」と意欲的だ。そして、いずれは後輩女性社員を指導する立場にもなる。「女性が働きやすい環境を整えたい。これも重要な社会貢献です」と、社会貢献を旗印にする会社の社員らしい言葉が返ってきた。



▲新たなビジネスを開拓した松田さん。その仕事ぶりは社長からの信頼も厚い

INTERVIEW
わが社の魅力を語る

代表取締役社長
高木 眞敏さん



お客様目線で1社でも多くのファンを確保

壽環境機材は1977年に、同業中堅他社で働いていた4人の技術者が独立して起業した会社です。30年後の2007年に三菱ケミカルエンジニアリング社から同じ水処理事業譲渡を受け、売り上げや従業員を倍増させるなど一気に事業を拡大しました。現在は水処理設備や洗浄設備などを、提案から設計・製作、メンテナンスまで一貫して提供しています。

お客さま目線で信頼をいただき、1社でも多くのファンを増やしていければと思っています。それには人の力が必要です。人材育成に一層力を入れるつもりです。

会社 DATA

本社所在地：大阪市北区天満 1-19-4 センチュリーパーク東天満 3 階
 設立：1977年4月 代表者：代表取締役社長 高木 眞敏 資本金：3,200万円
 従業員数：71名
 事業内容：用水処理設備、排水処理設備、洗浄設備等のコンサルティング、設計、製作、メンテナンス
 主な支援制度：各種資格手当制度、住宅手当制度
 U R L：http://www.kotobukikk.com